



アクティビティ（奉仕活動）

第56回 市民スポーツ剣道大会に協賛

2026年9月23日

帯広平原ライオンズクラブは令和8年9月23日、よつ葉アリーナ十勝で開催された「第56回市民スポーツ剣道大会」を協賛しました。ライオンズクラブのスローガン「青少年の健全育成」として、本年度で2回目の協賛となり、昨年と同様に全十勝剣道連盟十勝支部に竹刀12本を寄贈致しました。



稲邊会長来賓挨拶

皆様、おはようございます。

本日は、第56回市民スポーツ剣道大会が盛大に開催されますこと、心よりお祝い申し上げます。

帯広平原ライオンズクラブでは、昨年からの大会に協賛させていただき、今年で2回目を迎えることとなりました。

私たちライオンズクラブは、地域への奉仕活動、そして青少年の健全育成を大切な活動の一つとしております。

剣道は、技を競うだけではなく、礼儀を重んじ、相手を敬う心、そして日々の稽古を積み重ねる忍耐力を育てる素晴らしい競技だと思います。

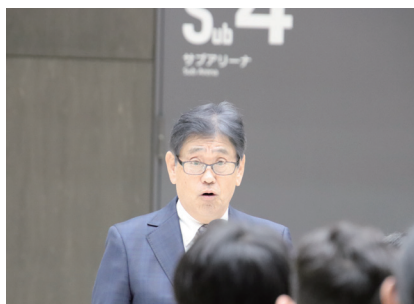
選手の皆さんには、これまで積み重ねてきた稽古の成果を存分に発揮し、最後まで正々堂々、悔いのない試合をしていただきたいと思います。

また、日頃から選手の皆さんを指導されている先生方をはじめ、大会運営に携わる関係者の皆様、そして選手を支えているご家族の皆様に、心より敬意を表します。

そして、本日の大会が皆さんにとって、勝敗を超えて心に残る素晴らしい大会となることを願っております。

結びに、第56回市民スポーツ剣道大会のご盛会と、選手の皆さんのご健闘を心より祈念申し上げ、帯広平原ライオンズクラブを代表して、挨拶とさせていただきます。

選手の皆さん、日頃の稽古を信じて、最後まで全力で頑張ってください。



全十勝剣道連盟に
竹刀12本を寄贈
帯広平原LC
帯広平原ライオンズクラブ（稲邊幸司会長）は、全十勝剣道連盟帯広支部（清野芳明支部長）に竹刀12本を寄贈した。

同日に帯広市内のよつ葉アリーナ十勝で行われた「第56回市民スポーツ剣道大会」（実行委など主催）の開会式で、稲邊会長が大会長の清野支部長に手渡し、同クラブは昨年からの大会に協賛しており、寄贈も2回目。同大会には小学生が出場し、竹刀は各部門の優勝選手に贈られた。稲邊会長は「子どもたちには元気で真つすく育ってほしい。奉仕の心も持つてくれたら」と語った。清野支部長は「地域の青少年の健全な成長に役立てていきたい」と話した。（真野真生）